



# IIXIL 本体吊りおろし方法 施工説明書

## ■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲警告** …施工を誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。

**▲注意** …施工を誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

### ▲警告

- 必ず本体を保持しながら、丁番(上/中)の軸を上げてください。本体が脱落し、ケガをするおそれがあります。
- 必ず2人以上で作業をしてください。本体を支えきれずに脱落し、ケガをするおそれがあります。

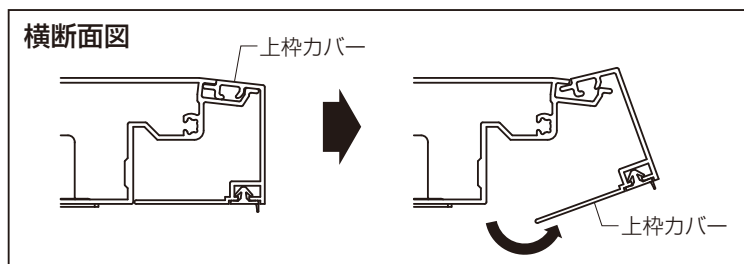
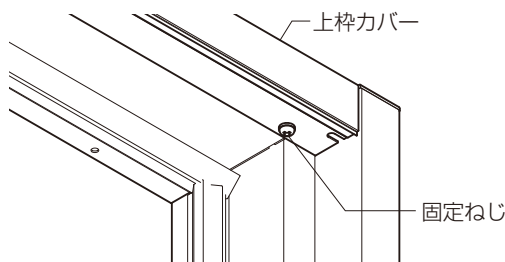
### ▲注意

- 本体を持ち上げる際は、吊元側の戸先と枠に手を挟まれないようにしてください。ケガをするおそれがあります。

## ■本体吊りおろし方法

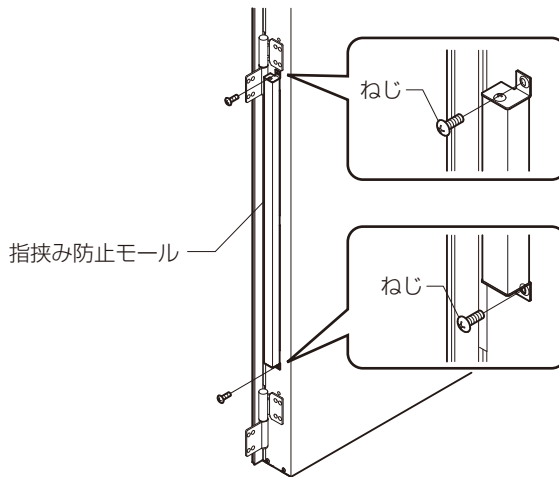
### 1 上枠カバーを外す

本体、機能ユニットを枠に対して90°開き、上枠カバーを両端で固定しているねじを外し、下図のように上枠カバーを回転させながら外します。



### 2 指挟み防止モールを外す

本体を枠に対して90°開き、本体吊元側側面の下部に上下2本で固定しているねじを外して、指挟み防止モールを外します。



### 3 丁番(上/中/下)カバーを外す

図1のように丁番(上/中/下)カバーをつまみ、矢印の方向に押し上げてください。

※丁番カバーが外れにくい場合は、図2のように養生テープ等を丁番カバーに貼り上方向に引張ると外れやすいです。

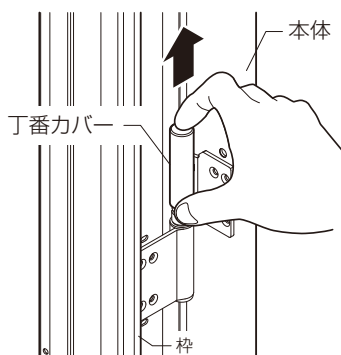


図1

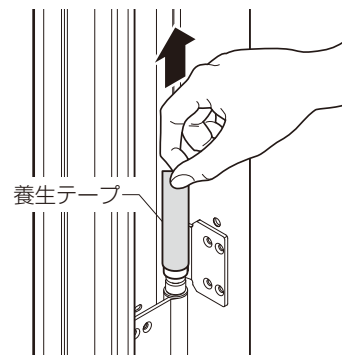
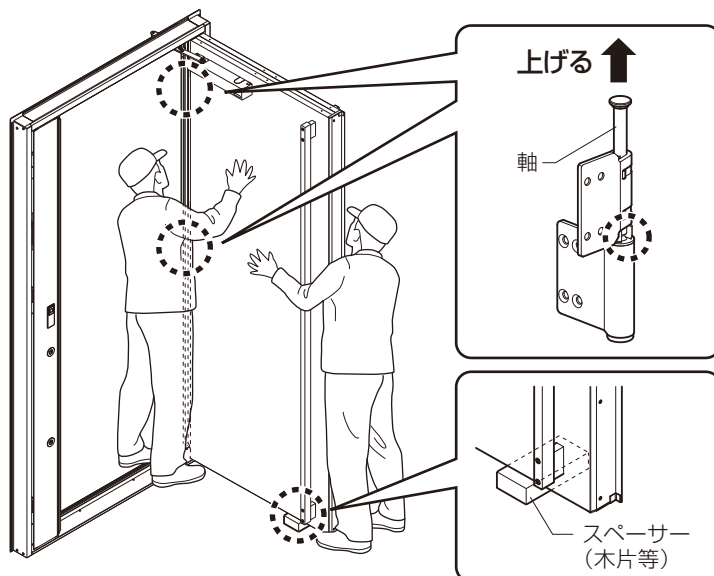


図2

#### 4 本体の下にスペーサー(木片等)を挟み、本体を保持しながら丁番(上/中)の軸を上げる

##### ▲ 警告

- 必ず本体を保持しながら、丁番(上/中)の軸を上げてください。本体が脱落し、ケガをするおそれがあります。
- 必ず2人以上で作業をしてください。本体を支えきれずに脱落し、ケガをするおそれがあります。



#### 5 本体を室外側に傾けながら持ち上げて、丁番(下)の軸を抜いて本体を下す

##### ▲ 注意

- 本体を持ち上げる際は、吊元側の戸先と枠に手を挟まれないようにしてください。ケガをするおそれがあります。

